




タイトル「**2015年度 教養科目シラバス**」、フォルダ「**2015年度 教養科目シラバスー2015年度キャリアデザイン科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	グローバル起業論		
担当教員	湯崎 真梨子		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	火1	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	全学部・全学年 【女性起業論】取得者は受講不可		
科目名 (英語表記)	Glocal Entrepreneurship		
授業の概要・ねらい	<p>「起業」とは、会社などに雇われることなく自分で仕事を起こし経済活動を行うことです。本講義のキーワードであるグローバル (Glocal) とは、グローバル (Global) とローカル (Local) をかけ合わせた造語で、「地球規模の視野で考え、地域からの視点で行動する (Think globally, act locally)」との考え方を表しています。また、地域、社会、経済、環境に関わるさまざまな問題と密接な関わりを持った言葉といえます。</p> <p>本講義では、地域発祥で自発的に起こっている起業を取り上げ、地域変革をもたらすイノベーションの視点で起業を学びます。前半では起業、内発的発展、オルタナティブなどの意味を検討し、中～後半では、実際に地域や農村発の起業を実例に、背景、アイデア、行動力、志、技術伝承などから、分析、検討し、特に地域資源の利活用による起業の可能性を考察します。同時に起業が成立するための社会ニーズや新しい価値観について学びます。地域活性化や地域での起業、社会が求める新規ビジネスに関心のある学生が受講対象になります。</p>		
授業計画	回	内容	
	1	ガイダンス(授業の進め方と講義内容の前説)	
	2	現代社会の課題と生産労働力の実情	
	3	起業とイノベーション：言葉、用語の意味と社会の中での位置づけを解説する	
	4	「地域」のルーツと現状：地域とは何か、についての基礎的な理解と現状の傾向をみる。以下の講義で順次、地域発イノベーションの可能性を考える	
	5	内発的発展と"オルタナティブ"：基礎的な意味を解説し、地域の方向性としての「第3の道」を視野に入れる	
	6	地域資源の多面的な理解：食を取り巻く現実と政策の傾向を解説する	
	7	地域資源の多面的な理解：地域資源を利活用するための地域技術再生について考える	
	8	地域資源の多面的な活用：農山村起業とグローバル起業の萌芽を比較する	
	9	事例研究：生活ニーズによる発想からの起業。その展開の実例研究	
	10	事例研究：「地方で働くこと」を前提にした自立的な生き方と起業の関係性をみる	
	11	事例研究：「地域社会の危機と起業」の視点から、地産地消を根底に置いた社会的起業を考える	
	12	事例研究：世界が直面する課題を見ながら、その解決をめざす社会システムづくりとしての社会的起業を紹介する	
	13	事例研究：組織における起業マインドについて、女性社員の取り組みからみる	
	14	ビジネスプランの立案：起業計画／アイデアの創出／事業構想／計画づくりをビジネス現場から学ぶ	
	15	まとめ：全講義のまとめと確認	
		(以上の授業内容は、事例研究対象(ゲスト)との調整により、順番と内容が変更する場合があります。)	

到達目標	地域の実情と起業実態，起業ノウハウを学ぶことにより，自らの仕事と社会との関わりについての考えを深めること。
成績評価の方法	出席状況と随時レポートの提出および「まとめ」により評価を行う。
教科書	『地産地消大学』湯崎真梨子，南方新社，ISBN:978-4-86124-293-9
参考書・参考文献	『20円で世界をつなぐ仕事』小暮 真久，日本能率協会マネジメントセンター，ISBN: 978-4-8207-1741-6 関連図書として、『紀の国わたし物語』夏蜜柑編著，テクライツ，ISBN:4925134000C0036も図書館で読んでください。
履修上の注意・メッセージ	適宜，起業家のゲストを招き実例を聞きます。ゲストとの日程調整上，授業計画は変動します。ディスカッションの場を作りたいので，授業には積極的な参加をしてください。著しい遅刻，授業への迷惑行為には退室を求めます。
履修する上で必要な事項	
受講を推奨する関連科目	
授業時間外学習についての指示	本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。
その他連絡事項	

